

整形外科

手のしびれ

手根管症候群について

国吉病院

医師 谷脇 祥通 さん



手のしびれの原因として脳、脊髄、末梢神経や血管由来のものが考えられますが、最も頻度が高いのは手根管症候群です。手指を曲げる腱や神経は手首の所にある手根管というトンネルを通りますが、ここで神経が

圧迫されることにより起こる病気が手根管症候群です。夜間・早朝に増強するしびれが特徴的で、そのしびれは手を振ったりすることにより軽減することがあります。病気が進行すると親指の付け根の筋肉が痩せ、

細かな動作が不自由になります。問診や理学所見から多くの場合は診断が可能です。神経伝導速度検査といって、皮膚上から神経を刺激してその伝わる速度を測定することで確定診断となります。外固定や飲み薬、注射などの保存的治療がまず選択されます。症状が強い、あるいは病気が進行している場合には手術の適応となりますが、最近では内視鏡を用いた小侵襲手術も行われていますので、お気軽にご相談ください。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科・脳神経外科 他